



50回目の福興市

9月27日(日)、さんさん商店街隣接特設会場にて志津川湾タコまつり福興市が開催されました。第50回目の節目となる今回の福興市は、「西の明石、東の志津川」と称されるほど、上質なことで知られている「タコ」を題し催され、タコしゃぶしゃぶをはじめとした様々なタコメニューが各ブースに並び、来場者はさまざまな味覚を堪能しました。また、ステージではジャズの演奏が行われ、会場をより盛り上げていました。



Kitakamicaris utatsuei
Ehiro and Kato (新属・新種)
キタカミカリス・ウタツエンシス

マイクロカリス科に属する小型の囊頭類で、甲皮(carapace)はやや細長く、腹部中央部がふくらむ。顕著な吻状突起(rostrum)をもち、その下方の前縁部には大きな眼窩がある。甲皮の表面は、たて方向の細かな肋で装飾されている。類似のいくつかの属がヨーロッパの中部～上部三畳系から知られているが、Kitakamicaris属は前縁部から腹部にいたる角がほぼ90°をなすことで他の属と明瞭に区別される。

日本初 のうとるい 囊頭類化石発見!

日本初ののうとるい(のうとるい)の囊頭類化石が発見されました。ここ数年調査を続けてきた東北大学総合学術博物館が、歌津の館崎北方に分布する大沢層から3種の囊頭類化石を見つけました。大沢層はウタツギョリュウが発見された地層でもあります。3種の内1種は新属・新種で、キタカミカリス・ウタツエンシスという名称が付けられました。



囊頭類はシルル紀から白亜紀に生息した節足動物に属する生物ですが、研究途上で謎の多い生物グループです。そのため、今回の発見は囊頭類の進化や古生物地理に関する新たなデータを提供する重要な発見と考えられます。

この発見された実物化石のいくつかは歌津コミュニティ図書館・魚竜で展示されています。

「あわせ 支合笑世」福幸祭

10月3日(土)、バイサイドアリーナにおいて南三陸町福祉まつりが開催されました。町内の福祉施設や事業所、地域で活動する団体・企業が一同に会し、日ごろの活動や取り組みを披露するものです。オープニングは大森創作太鼓による演奏で飾られ、ステージでは町内の中高等学校合同バンドによるプラスバンド演奏や時葉堂による笑いヨガ、輝き劇団による町民福祉劇が会場を盛り上げました。また、各ブースでは福祉関係団体による活動紹介や作品の展示販売などが行われ、来場者は楽しいひと時を過ごしました。



みんながよく知る物語…!?

10月3日(土)、ひころの里において全国で活動されているプロの人形劇団「のはな」によるボランティア公演が行われました。有名な物語「あかずきんちゃん」をアレンジした劇を含む2作品を公演し、子どもだけではなく、大人も楽しめる人形劇にみんなが笑顔になりました。公演終了後には人形作りワークショップも行われ、参加した人は思い思いの人形を夢中になって作りました。



九州の2市と「災害時相互応援協定」を締結

10月6日(火)に佐賀県多久市と、10月9日(金)に鹿児島県伊佐市と、それぞれ「災害時相互応援協定」を締結しました。

この協定は、相手方市町で大規模な災害が発生した場合において、被害を受けた市町の応急対策・復旧対策が円滑に遂行されるよう、職員の派遣や物資の提供をはじめとし、相互に応援することを定めたものです。

県外市町とのこうした協定の締結は、平成18年5月の山形県庄内町、平成26年2月の長崎県南島原市に続くものとなります。